

令和 4 年度岡山県地区防災計画等作成推進協議会
決 算 書

収入の部

科 目	予算額	決算額	差 引	説 明
県 負 担 金	1,000,000	683,993	△ 316,007	県からの負担金収入
諸 収 入	0	7	7	預金利息
合 計	1,000,000	684,000	△ 316,000	

支出の部

科 目	予算額	決算額	残 額	説 明
報 償 費	440,000	247,520	192,480	アドバイザーへの謝金
旅 費	137,000	116,943	20,057	アドバイザーへの交通費
需 用 費	24,000	330	23,670	
役 務 費	22,000	16,390	5,610	振込手数料
使用料及び賃借料	50,000	33,500	16,500	協議会開催経費
補 助 金	327,000	269,317	57,683	事業実施地区への補助金
合 計	1,000,000	684,000	316,000	

収入総額	684,000 円
支出総額	684,000 円
差 引	0 円

令和4年度岡山県地区防災計画等作成推進協議会

事業実績報告書

内 容		実 績	実績額
事業費	協議会開催 (計2回)	各モデル地区に協議組織となる部会を設け、倉敷市五福地区、玉野市広木地区、里庄町殿迫地区において専門家等の派遣を通して地区防災計画や個別避難計画の作成の取組を支援するとともに、全体協議会では各地区の取組成果やノウハウ等の共有を図った。	94,639円
	アドバイザー 派遣等	計画作成の助言等を行うため、協議会から3地区にアドバイザーの派遣を行った。その結果、倉敷市五福地区及び玉野市広木地区では地区防災計画(素案)が完成した。また、玉野市広木地区及び里庄町殿迫地区では、個別避難計画の作成に取り組み、国が示す手順に沿って福祉専門職の参画も得ながら地域住民が一体となり、計画を作り上げた。	303,324円
	補助金(倉敷市五福地区)	部会は3回開催し、防災まち歩きの実施や防災マップ・防災タイムラインの作成、五福地区防災組織連絡体制の構築など、地区の基本方針である「五福学区で誰ひとり取り残されない防災に」に向けた取組を精力的に行い、地区防災計画(素案)をとりまとめた。また、安否確認伝達訓練を行い、若い世帯から高齢の世帯まで様々な世代が参加したことにより、学区内でのコミュニケーションが密になり、学区全体の防災意識が高まった。	129,800円
	補助金(玉野市広木地区)	部会は5回開催し、防災まち歩きや防災マップの作成などに地域住民が参加して、地域の実情に応じた地区防災計画(素案)をとりまとめた。あわせて個別避難計画の作成にも取り組み、地区が主体となって地域調整会議を開催し、要支援者や支援者との活発な意見交換を通じて支援方法等を確認し、1名の個別避難計画を作り上げた。また、こうした取組に若い世帯から高齢の世帯まで様々な世代が参加したことにより、地域内の繋がりや防災意識が高まった。	41,125円
	補助金(里庄町殿迫地区)	部会は4回開催し、福祉専門職や消防団員などの参画も得ながら地域住民が一体となり、タイムラインの作成や計画作成のシミュレーションなどを実施して計画作りを学び、町内で初めて地区5名の個別避難計画を作り上げた。また、避難訓練を実施し、要支援者の避難手順の確認を行うとともに計画の実効性を検証し、地域全体でノウハウ等の共有化を進めた。こうした取組を通じて防災意識や個別避難計画の理解が深まり、地域全体の防災意識が高まった。	98,392円
	協議会表彰	地区防災計画や個別避難計画の作成、作成の普及に関する取組を積極的に行っている団体(者)を表彰し、その功績をたたえることで、計画作成に対する県民の一層の関心と意欲を高め、計画の作成促進に資することを目的に実施。功績が顕著な1団体に対して表彰状を贈った。	8,030円
小 計			675,310円
事務費	振込手数料	上記事業の支払いに係る銀行窓口での振込手数料	8,690円
	小 計		
歳 出 合 計			684,000円
収入	県負担金		683,993円
	預金利息		7円
歳 入 合 計			684,000円


会計監査報告書

岡山県地区防災計画等作成推進協議会

会 長（岡山県危機管理課長） 千田 元久 様

岡山県地区防災計画等作成推進協議会における令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の収支決算書及び関係書類等を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを確認しましたので、ここに御報告申し上げます。

令和5年5月19日

岡山県危機管理課長
監 事 山内 祐樹 

令和5年5月19日

倉敷市防災推進課長
監 事 永野 裕二 